

2. ホイールの組み立て

キシリウム エリート 2005 およびディーマックス UST 2005 用スポークに関する注意点

キシリウム エリート 05 (700 および 650) およびディーマックス UST 05 のホイールに使われているスポークには、クロスマックス エンデュロおよびクロスマックス エンデュロ ディスクのものと同じ設計方式が使用されています。

ステンレススチール製で、ジラルスポークと同様にインテグレートッドニップルを備えています。このニップルはスポークから取り外すことはできません。このシステムでは、リムのフォードリルとスポークニップルの間に使われるスクリュオンアイレットは使用していません。

ニップルが破損した場合は、スポークを交換しなければなりません。ニップルは決してスポークから外さないでください。再び装着して使用すると、安全性が損なわれる恐れがあります。

ジラルスポークと同様に、スポークニップルは直接、リムにねじ込まれています。

このホイールのスポークニップルには、赤いポリアミド製ブレーキリングが組み込まれています。このため、スレッドロックを使う必要はありません。

ホイール組み立ての際に、このニップルがリムのネジ穴に正しくはめ込まれるように、ブレーキリングが見えなくなるまで、各ニップルを締めてください。すべてのスポークがリムに取り付けられたら、各ニップルを 2 回転分、締め付けてください。ここで、テンションを調整し、ホイールの振れ取りを確認します。

スポークがニップル内で動きにくくなるため、スポークがリムに取り付けられた後は、リムの各フォードリル穴はスポークが動く方向に並べられます。たとえば、フリーホイール側から非ドライブ側、ディスク側からその反対側、ブレーキングスポークからプリングスポークという方向に並べられます。

したがって、ホイールは以下の指示に従い、リム上で正しい方向に組み立ててください。

2.1. エリプス、コスミック エリート、コスミック カーボン SL、キシリウム エリート、ディーマックス UST のホイールのスポーク交換

必要なツール

- ・ニップルレンチ (エリプスおよびコスミック エリート用ホイールの場合)
- ・ニップルレンチアルミ M40494 または M40652 (キシリウム エリートおよびディーマックス UST 用ホイールの場合)
- ・ニップルレンチ M40001 (コスミック カーボン SL 用ホイールの場合)
- ・テンションメーターおよび対応するテンション表示換算表

使用するスポークのリファレンス No. と長さは製品説明のページ (p. 6 ~ 16) に記載されています。

- コスミック カーボン SL 用ホイールの場合、タイヤとリムテープを外す必要があります。
- エリプスおよびコスミック エリートのホイールで、スポークニップルも交換する場合は、先にリムテープを外す必要があります。
- キシリウム エリートまたはディーマックス UST のホイールで、3 本以上のスポークが破損したホイールを修理する場合は、ホイール全体のテンションを低くすることをお勧めします。破損したスポークを交換する前に、各ニップルをブレーキリングの限界まで緩めてください。

1. 適切なニップルレンチを使ってスポークニップルを緩め、テンションを低くします。
2. スポークを切り込みから外します。
 - エリプスまたはキシリウム エリートのフロントホイール、コスミック カーボン SL のフロントまたはリアホイールのドライブ側でない方では、アクスルをあらかじめ外しておく必要があります (アクスルの取り外し手順については製品に同梱の手順書を参照)。
 - コスミック エリートのフロントまたはリアホイールのドライブ側でない方では、ハブキャップをあらかじめ外しておく必要があります。
3. 新しいスポークを切り込みに入れ、組み合わせが正しいことを確認します。
4. スポークニップルを締め、テンションを調整します (各ホイールに適用されるテンションについては製品説明のページを参照)。
5. 必要に応じて、アクスルまたはハブキャップを元のように取り付けます (交換したスポークのテンションは、遊び調整ナットにスポークヘッドが入らないような強さに調整する必要があります)。
6. ホイールの横方向と縦方向の位置が正しいかを確認します。

エリプス、コスミック エリート、コスミック カーボン SL、キシリウム エリートおよびディーマックス UST 用ホイールは、ABS タイプのニップルまたはインテグレートッドブレーキリングを使用しているため、ネジ止めの必要はありません。

エアロダイナミックスポークは、特殊なエアロダイナミックスポーク用ニップルレンチを使用してロックできます。このレンチを使用すると、スポークが回転することなく締めつけることができます。

注意：キシリウム エリートおよびディーマックス UST 用ホイールのスポークニップルを操作すると、スポークのテンションが変わるため、ホイールの調整に大きく影響します。最後に、ニップルを 1/4 回転させて、リムを横方向に約 0.3 mm 動かし、テンションの微調整を行います。